中間評価時(H27.4.1現在)からの修正

平成24年度採択プログラム　中間評価調書

（中間評価後修正変更版）

博士課程教育リーディングプログラム　プログラムの概要

［公表。ただし、項目13については非公表］

機関名	東北大学	整理番号	M01
1. 全体責任者 （学長）	※共同実施のプログラムの場合は、全ての構成大学の学長について記入し、取りまとめを行っている大学（連合大学院によるものの場合は基幹大学）の学長名に下線を引いてください。 （ふりがな）　さとみ　すすむ 氏名・職名　里見　進（東北大学総長）		
2. プログラム責任者	（ふりがな）　はなわ　きみお 氏名・職名　花輪　公雄（東北大学・理事（教育・学生支援・教育国際交流担当））		
3. プログラムコーディネーター	（ふりがな）　ゆがみ　ひろお 氏名・職名　湯上　浩雄（東北大学大学院工学研究科・副研究科長（教育担当）・教授）		
4. 類型	M ＜複合領域型（安全安心）＞		
5. プログラム名称	グローバル安全学トップリーダー育成プログラム		
5. 英語名称	Inter-Graduate School Doctoral Degree Program on Science for Global Safety		
5. 副題			
6. 授与する博士学位分野・名称	博士（工学）、博士（理学）、博士（環境科学）、博士（文学）、博士（情報科学）、博士（医工学）もしくは博士（学術）　付記する名称：グローバル安全学トップリーダー育成プログラム		
7. 主要分科	（①　社会・安全システム科学）（②　地球惑星科学）（③　総合工学）※ 複合領域型は太枠に主要な分科を記入		
8. 主要細目	（①　）（②　）（③　）※ ｵﾝﾘｰﾜﾝ型は太枠に主要な細目を記入		
9. 専攻等名 （主たる専攻等がある場合は下線を引いてください。）	理学研究科地学専攻・地球物理学専攻・天文学専攻、工学研究科機械機能創成専攻（平成28年4月1日名称変更）・土木工学専攻・都市・建築学専攻・ファインメカニクス専攻（平成28年4月1日名称変更）・航空宇宙工学専攻・ロボティクス専攻（平成28年4月1日名称変更）・量子エネルギー工学専攻・電気エネルギーシステム専攻・化学工学専攻・技術社会システム専攻、環境科学研究科先端環境創成学専攻・先進社会環境学専攻、医工学研究科医工学専攻、災害科学国際研究所、流体科学研究所、東北アジア研究センター、情報科学研究科応用情報科学専攻・人間社会情報科学専攻、経済学研究科経済経営学専攻、法学研究科法政理論研究専攻、文学研究科文化科学専攻・人間科学専攻・歴史科学専攻、学術資源研究公開センター		

10. 共同教育課程を設置している場合の共同実施機関名

11. 連合大学院として参画している場合の共同実施機関名

12. 連携先機関名（他の大学等と連携した取組の場合の機関名、研究科専攻等名）

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構、同和ホールディングス、米国地質調査所、スタンフォード大学

（機関名：東北大学　類型：複合領域型（安全安心）　ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ名称：グローバル安全学トップリーダー育成プログラム）

中間評価時(H27.4.1現在)からの修正

［公表］

14. プログラム担当者の構成	計 63 名		
外国人の人数	3 人 ［ 4.8 %］	女性の人数	4 人 ［ 6.3 %］
プログラム実施大学に属する者の割合	［ 93.7 %］		
プログラム実施大学に属する者	59 人	プログラム実施大学以外に属する者	4 人
そのうち、他大学等を経験したことのある者	44 人	そのうち、大学等以外に属する者	3 人

15. プログラム担当者

氏名	フリガナ	年齢	所属(研究科・専攻等)・職名	現在の専門学位	役割分担 (平成28年度における役割)
(プログラム責任者) 花輪　公雄	ハナワ　キミオ		理事（教育・学生支援・教育国際交流担当）	海洋物理学 理学博士	プログラム責任者
(プログラムコーディネーター) 湯上　浩雄	ユガミ　ヒロオ		工学研究科・機械機能創成専攻・教授（副研究科長）（H28.4.1専攻名称変更）	ｴﾈﾙｷﾞｰｼｽﾃﾑ学 工学博士	プログラム統括担当者
今村　文彦	イマムラ　フミヒコ		災害科学国際研究所・教授（所長） (工学研究科・土木工学専攻兼務)	津波工学, 防災科学 工学博士	「安心・安全を創る」ユニット長、プログラム運営委員：防災科学に関する教育研究と人材育成
源栄　正人	モトサカ　マサト		災害科学国際研究所・教授 (工学研究科・都市・建築学専攻兼務)	地震工学・耐震工学 工学博士	「安全安心を創る」ユニット、入試・学位授与審査委員：地震工学の教育研究と人材育成
奥村　誠	オクムラ　マコト		災害科学国際研究所・教授 (工学研究科・土木工学専攻兼務)	国土計画・交通工学 博士（工学）	「安全安心を創る」ユニット、教育・カリキュラム委員：国土計画の教育研究と人材育成
邑本　俊亮	ムラモト　トシアキ		災害科学国際研究所・教授 (情報科学研究科・人間社会科学専攻兼務)	認知心理学 博士(行動科学)	「安全・安心に生きる」ユニット、教育カリキュラム委員：認知心理学の教育研究と人材育成
越村　俊一	コシムラ　シュンイチ		災害科学国際研究所・教授 (工学研究科・土木工学専攻兼務)	自然災害科学 博士（工学）	「安全安心を創る」ユニット、広報委員：減災社会の構築に向けた実践的リーダーの育成
遠田　晋次	トオダ　シンジ		災害科学国際研究所・教授 (理学研究科・地学専攻兼務)	活断層地球物理学 博士（理学）	「安心・安全を知る」ユニット、災害科学に関する教育研究と人材育成
小野　裕一	オノ　ユウイチ		災害科学国際研究所・教授	国際防災政策 Ph.D	「安心・安全を生きる」ユニット、災害科学に関する教育研究と人材育成
後藤　和久	ゴトウ　カズヒサ		災害科学国際研究所・准教授 (理学研究科・地学専攻兼務)	津波堆積学 博士（理学）	「安心・安全を知る」ユニット、災害科学に関する教育研究と人材育成
今泉　俊文	ｲﾏｲｽﾞﾐ ﾄｼﾌﾐ		理学研究科・地学専攻・教授 （災害科学国際研究所兼務）	変動地形学 理学博士	「安心・安全を知る」ユニット、教育カリキュラム委員：活断層の評価教育研究と人材育成
趙　大鵬	チョウ　タイホウ		理学研究科・地球物理学専攻・教授 （災害科学国際研究所兼務）	地震学・火山物理学 理学博士	「安全安心を知る」ユニット、入試・学位授与審査委員：地震学の教育研究と人材育成
佐藤　源之	サトウ　モトユキ		東北アジア研究センター・教授 （災害科学国際研究所兼務）	計測工学 博士（工学）	「安全安心を創る」ユニット、広報委員：計測工学の教育研究と人材育成
西村　太志	ニシムラ　タケシ		理学研究科・地球物理学専攻・教授	地震学, 火山物理学 博士（理学）	「安全安心を知る」ユニット、教育・カリキュラム委員：地震学の教育研究と人材育成
日野　亮太	ヒノ　リョウタ		理学研究科・地球物理学専攻・教授	海底地震学 博士（理学）	「安全安心を知る」ユニット、広報委員：地震ﾀﾞｲﾅﾐｸｽと津波防災科学の教育研究と人材育成
早坂　忠裕	ハヤサカ　タダヒロ		理学研究科・地球物理学専攻・教授（研究科長）	大気物理学 理学博士	「安全安心を知る」ユニット、プログラム運営委員：大気物理学の教育研究と人材育成
松澤　暢	マツザワ　トオル		理学研究科附属地震・噴火予知研究観測センター・教授（センター長・理学研究科・地球物理学専攻兼務）（H28.4.1 職名変更）	地震学 理学博士	「安全安心を知る」ユニット、産学連携委員：地震災害の教育研究と人材育成
小原　隆博	オバラ　タカヒロ		理学研究科附属惑星プラズマ・大気研究センター・教授（理学研究科・地球物理学専攻、災害科学国際研究所兼務）（H28.4.1 職名変更）	地球惑星放射線物理学 理学博士	「安全安心を知る」ユニット、教育・カリキュラム委員：地球惑星放射線物理学の教育研究と人材育成
須賀　利雄	スガ　トシオ		理学研究科・地球物理学専攻・教授 （災害科学国際研究所兼務）	海洋物理学 理学博士	「安全安心を知る」ユニット、教育・カリキュラム委員：海洋物理学の教育研究と人材育成
中村　智樹	ナカムラ　トモキ		理学研究科・地学専攻・教授	惑星科学 博士（理学）	「安全安心を知る」ユニット、教育・カリキュラム委員：科学的視点に立った安全安心教育
掛川　武	カケガワ　タケシ		理学研究科・地学専攻・教授	地球化学 Ph. D.	「安全安心を知る」ユニット、プログラム運営委員：地球化学の教育研究と人材育成
中村　美千彦	ナカムラ　ミチヒコ		理学研究科・地学専攻・教授	火山学・岩石学 博士（理学）	「安全安心を知る」ユニット長、産学連携委員：火山学の教育研究と人材育成（H28.4.1　役割分担変更）
井龍　康文	イリュウ　ヤスフミ		理学研究科・地学専攻・教授	炭酸堆積学, 古生物学 理学博士	「安全安心を知る」ユニット、教育・カリキュラム委員：古生物学の教育研究と人材育成
三浦　英生	ミウラ　ヒデオ		工学研究科・先端材料強度科学研究センター・教授（センター長・工学研究科・ファインメカニクス専攻兼務）（H28.4.1専攻名称変更）	破壊予知と制御 博士（工学）	「安全安心を創る」ユニット、プログラム運営委員：ｴﾈﾙｷﾞｰ安全学の教育研究と人材育成
久田　真	ヒサダ　マコト		工学研究科・土木工学専攻・教授	土木材料学 工学博士	「安全安心を創る」ユニット、プログラム運営委員：土木材料学の教育研究と人材育成

中間評価時(H27.4.1現在)からの修正

［公表］

15. プログラム担当者一覧(続き)

氏名	フリガナ	年齢	所属(研究科・専攻等)・職名	現在の専門学位	役割分担 (平成28年度における役割)
植松　康	ｳｴﾏﾂ　ﾔｽｼ		工学研究科・都市・建築学専攻・教授（副研究科長）	構造安全ｼｽﾃﾑ 工学博士	「安全安心を創る」ユニット、プログラム運営委員：構造安全ｼｽﾃﾑ学の教育研究と人材育成
厨川　常元	ｸﾘﾔｶﾞﾜ　ﾂﾈﾓﾄ		医工学研究科・医工学専攻・教授 （工学研究科・機械機能創成専攻兼務）（H28.4.1専攻名称変更）	ナノ精度加工学 工学博士	「安全安心を創る」ユニット、産学連携委員：ナノ精度加工学の教育研究と人材育成
祖山　均	ｿﾔﾏ　ﾋﾄｼ		工学研究科・ファインメカニクス専攻・教授（H28.4.1専攻名称変更）	知的計測評価学 工学博士	「安全安心を創る」ユニット、産学連携委員：知的計測学の教育研究と人材育成
吉田　和哉	ﾖｼﾀﾞ　ｶｽﾞﾔ		工学研究科・航空宇宙工学専攻・教授	宇宙ﾛﾎﾞﾃｨｸｽ 工学博士	「安全安心を創る」ユニット、入試・学位授与審査委員：宇宙ロボティクスの教育研究と人材育成
渡邊　豊	ﾜﾀﾅﾍﾞ　ﾕﾀｶ		工学研究科・量子エネルギー工学専攻・教授	保全工学 工学博士	「安全安心を創る」ユニット、教育・カリキュラム委員：リスクベース設備管理に関する教育研究と人材育成
小菅　一弘	ｺｽｹﾞ　ｶｽﾞﾋﾛ		工学研究科・ロボティクス専攻・教授（H28.4.1専攻名称変更）	ロボティクス 博士（工学）	「安全安心を創る」ユニット、入試・学位授与審査委員：共存・共生するロボットの教育研究と人材育成
津田　理	ﾂﾀﾞ　ﾏｺﾄ		工学研究科・電気エネルギーシステム専攻・教授	超電導応用 電力システム 博士（工学）	「安全安心を創る」ユニット、広報委員：超電導応用電力システムの教育研究と人材育成
中田　俊彦	ﾅｶﾀ　ﾄｼﾋｺ		工学研究科・技術社会システム専攻・教授	ｴﾈﾙｷﾞｰ経済工学 博士（工学）	「安全安心を創る」ユニット、教育・カリキュラム委員：エネルギー経済学の教育研究と人材育成
高橋　信	ﾀｶﾊｼ　ﾏｺﾄ		工学研究科・技術社会システム専攻・教授	原子力工学・認知工学 工学博士	「安全安心を創る」ユニット、原子力工学の教育研究と人材育成
青木　秀之	ｱｵｷ ﾋﾃﾞﾕｷ		工学研究科・化学工学専攻・教授	化学工学 工学博士	「安全安心を創る」ユニット、産学連携委員：ｴﾈﾙｷﾞｰｾｷｭﾘﾃｨ、環境技術の教育研究と人材育成
陳　迎	ﾁﾝ ｲﾝ		先端材料強度科学研究センター・教授 （工学研究科・ファインメカニクス専攻兼務）（H28.4.1専攻名称変更）	計算材料科学 博士（工学）	「安全安心を創る」ユニット、広報委員：材料信頼性分野の教育研究と人材育成
田所　諭	ﾀﾄﾞｺﾛ ｻﾄｼ		情報科学研究科・応用情報科学専攻・教授 （災害科学国際研究所兼務）	減災ﾛﾎﾞﾃｨｸｽ 博士（工学）	「安全安心を創るユニット」、産学連携委員：減災ロボティクスの教育研究と人材
河野　達仁	ｺｳﾉ　ﾀﾂﾋﾄ		情報科学研究科・人間社会情報科学専攻・教授	都市・地域経済学・交通経済学・費用便益分析 博士（学術）	「安全安心を創るユニット」、教育・カリキュラム委員：都市・地域経済学の教育研究と人材
田中　真美	ﾀﾅｶ　ﾏﾐ		医工学研究科・医工学専攻・教授 （工学研究科・ロボティクス専攻兼務）（H28.4.1専攻名称変更）	医療福祉工学 博士（工学）	「安全安心を創る」ユニット、広報委員：医療福祉工学の教育研究と人材育成
小原　拓	ｵﾊﾗ　ﾀｸ		流体科学研究所・教授	分子熱工学 工学博士	「安全安心を創る」ユニット、教育・カリキュラム委員：分子熱工学の教育研究と人材育成
寒川　誠二	ｻﾑｶﾜ　ｾｲｼﾞ		流体科学研究所・教授	ﾅﾉﾌﾟﾛｾｽ工学 工学博士	「安全安心を創る」ユニット、産学連携委員：ナノプロセス工学の教育研究と人材育成
西　弘嗣	ﾆｼ　ﾋﾛｼ		学術資源研究公開センター総合学術博物館・教授	地質学・古生物学 理学博士	「安全安心を知る」ユニット、広報委員：災害教育・アウトリーチシステムの構築
田路　和幸	ﾄｳｼﾞ　ｶｽﾞﾕｷ		環境科学研究科・先進社会環境学専攻・教授	環境機能素材工学 理学博士	「安全安心を創る」副ユニット長、プログラム運営委員：環境機能材料の教育研究と人材育成
土屋　範芳	ﾂﾁﾔ　ﾉﾘﾖｼ		環境科学研究科・先進社会環境学専攻・教授	地圏環境科学 地殻流体科学 工学博士	「安全安心を創る」ユニット、入試・学位授与審査委員：資源・エネルギー問題の安全・安心を支えるリーダー養成
高浦　康有	ﾀｶｳﾗ　ﾔｽﾅﾘ		経済学研究科・経済経営学専攻・准教授	経営学原理学 修士（商学）	「安全安心に生きる」ユニット、教育・カリキュラム委員：経営学原理学の教育研究と人材育成
稲場　馨	ｲﾅﾊﾞ　ｶｵﾙ		法学研究科・法政理論研究専攻・教授	行政法学 博士（法学）	「安全安心に生きる」ユニット、教育・カリキュラム委員：行政法学の教育研究と人材育成
佐藤　嘉倫	ｻﾄｳ　ﾖｼﾐﾁ		文学研究科・人間科学専攻・教授	行動科学, 社会学 博士(文学)	「安全安心に生きる」ユニット長、プログラム運営委員：行動科学の教育研究と人材育成
村山　達也	ﾑﾗﾔﾏ　ﾀﾂﾔ		文学研究科・文化科学専攻・准教授	フランス近現代哲学 博士(哲学)	「安全安心に生きる」ユニット、広報委員：フランス近現代哲学の教育研究と人材育成
戸島　貴代志	ﾄｼﾏ　ｷﾖｼ		文学研究科・文化科学専攻・教授	西欧現代哲学, 倫理学 文学博士	「安全安心に生きる」ユニット、教育・カリキュラム委員：西欧現代哲学の教育研究と人材育成
原　塑	ﾊﾗ　ｻｸ		文学研究科・文化科学専攻・准教授	科学哲学 哲学博士	「安全安心に生きる」ユニット、教育・カリキュラム委員：科学哲学の教育研究と人材育成
鹿又　喜隆	ｶﾉﾏﾀ　ﾖｼﾀｶ		文学研究科・歴史科学専攻・准教授	考古学 博士(文学)	「安全安心に生きる」ユニット、教育・カリキュラム委員：考古学の教育研究と人材育成
升谷　五郎	ﾏｽﾔ　ｺﾞﾛｳ		工学研究科・工学教育院・特任教授（教育）	航空宇宙工学、推進工学 工学博士	「安全安心を創る」、プログラム運営委員、プログラム専任教員：航空宇宙工学に関する教育と人材育成
海野　徳仁	ｳﾐﾉ　ﾉﾘﾋﾄ		理学研究科・地震・噴火予知研究センター・特任教授	地震学 理学博士	「安全安心を知る」、プログラム運営委員、プログラム専任教員：地震学に関する教育と人材育成
松本　行真	ﾏﾂﾓﾄ　ﾐﾁﾏｻ		災害科学国際研究所・准教授	都市・地域論 博士(情報科学)	「安全安心に生きる」、プログラム専任教員：安全・安心な地域社会構築に向けた住民組織が果たす役割に関する教育研究と人材育成
久利　美和	ｸﾘ　ﾐﾜ		災害科学国際研究所・講師	地球科学、科学教育 博士（理学）	「安全安心を知る」、広報委員、プログラム専任教員：地球科学に関する教育研究と人材育成

（機関名：東北大学　類型：複合領域型（安全安心）　ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ名称：グローバル安全学トップリーダー育成プログラム）

中間評価時(H27.4.1現在)からの修正

［公表］

15. プログラム担当者一覧(続き)

氏名	フリガナ	年齢	所属(研究科・専攻等)・職名	現在の専門学位	役割分担 (平成28年度における役割)
松崎　瑠美	マツザキ　ルミ		文学研究科・助教	日本史 博士（文学）	「安全安心に生きる」、教務委員、Ｃ－ラボ委員、プログラム専任教員：歴史学と災害史に関する教育と人材育成
杉安　和也	スギヤス　カズヤ		災害科学国際研究所・助教	都市計画・復興・防災計画 博士（社会工学）	「安全安心を創る」、Ｃ－ラボ委員、プログラム専任教員：復興・防災に関する教育研究と人材育成
地引　泰人	ジビキ　ヤスヒト		災害科学国際研究所・助教	国際政治学 博士（学際情報学）	「安全安心に生きる」、プログラム専任教員：国際政治学に関する教育研究と人材育成
小澤　信	オザワ　シン		理学研究科・地学専攻・助教	惑星科学 博士（理学）	「安全安心を知る」、プログラム専任教員：宇宙災害に関する教育研究と人材育成
加藤　學	ｶﾄｳ ﾏﾅﾌﾞ		国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構・宇宙科学研究所・専任教授	惑星科学 理学博士	「安全安心を知る」ユニット、入試・学位授与審査委員：月惑星探査科学の教育研究と人材育成
白鳥　寿一	ｼﾗﾄﾘ ﾄｼｶｽﾞ		ＤＯＷＡエコシステム・部長 （環境科学研究科・教授兼務）	金属リサイクル 汚染土壌浄化 博士（工学）	「安全安心を創る」ユニット、産学連携委員：安全・安心のためのリスクコミュニケーションを行える技術者の育成
Stephen　H. Kirby	ｽﾃﾌｧﾝ ｶｰﾋﾞｨ		アメリカ地質調査所・教授 (理学研究科・客員教授)	Seismology Ph.D.	「安全安心を知る」ユニット、災害科学に関する教育研究と人財育成
David　B. Grusky	デービッド グラスキー		Center for the Study of Poverty and Inequality, Stanford University, Director	Sociology Ph.D.(Sociology)	「安全安心に生きる」ユニット、入試・学位授与審査委員：心理学の教育研究と人材育成

（機関名：東北大学　類型：複合領域型（安全安心）　ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ名称：グローバル安全学トップリーダー育成プログラム）

中間評価時(H27.4.1 現在）からの修正

【公表】

リーダーを養成するプログラムの概要、特色、優位性

（広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダー養成の観点から、本プログラムの概要、特色、優位性を記入してください。）

プログラムの概要

東北地域に甚大な被害を与えた東日本大震災から五年以上が経過するが、被災地域の社会基盤や産業基盤の本格回復には至っていない。さらには原子力発電所の再稼働を含めたエネルギー政策の大転換を議論せざるを得ない状況となっている。現在の状況は、我国の将来を決める決定的ターニングポイントに差し掛かっているといっても過言ではない。

本プログラムの人材養成目的は、我国や世界が直面する、**巨大地震や津波などの自然災害あるいは気候変動、エネルギーセキュリティなどの多様なリスクの発生メカニズムを理解し、複数の Science discipline を合目的に統合して、防災および減災などのための工学的・社会科学的システム設計ができるグローバル安全学分野のトップリーダー人材を育成する**ことである。この目的のために、科学・技術・人文社会科学の研究者が連携したプログラムにより、「**安全安心を知る**」、「**安全安心を創る**」、「**安全安心に生きる**」という３つの視点からリーダーを養成する。

本プログラムでは、地球惑星科学、環境科学をはじめとする自然科学、土木工学、都市・建築学、機械工学などの工学、哲学、歴史学、社会学、法学、経済学などの人文社会科学を中心とした３つの学術コアとその複合領域において、人間を起点とした科学と技術の統合により、人類社会の持続性に寄与すると共に産業・社会システムの構築による安全安心な社会の創出や東北復興の先導を担える人材育成を行う。

プログラムの特色

本プログラムの特徴は、本学に新設された**災害科学国際研究所の先端的な研究成果に基づいて、災害科学国際研究所、工学研究科、理学研究科、環境科学研究科、情報科学研究科、文科系諸研究科等が共同して**震災からの復興現場での活動や、世界的研究活動を通じて人材を育成することである。さらに人類社会共通の課題である気候変動や、原子力事故に代表される巨大事故への対応、世界的なエネルギーセキュリティ問題等の解決に貢献できるリーダー人材の育成に取組みを展開していく。

本プログラムでは、学生の修学を「**グローバル安全学教育研究センター**」において実施する。センターでは、博士前期課程に進学した学生を、個々の研究室に配属するのではなく、センターに配属して、複数の指導教員やメンターによる指導体制をとり、前期課程において、基幹科目（人文社会科学関連科目）を履修し、そのうえで確かなコア専門領域の知識を獲得すると共に、マルチディシプリナリ講義によるシェル領域の知識を得る。さらに、部局や専攻を跨いだ複数の学生が参画した Convergence Lab 研修（以下、C-Lab 研修）などを行う。特に、防災・減災分野の中核講義である実践的防災学講義シリーズや研修は災害科学国際研究所の教員を中心に実施する。これにより、リーダーシップの獲得や組織運営の経験を積ませると共に、博士後期課程における広い視野にもとづく自立的研究を誘発する環境に学生をおく。博士論文研究基礎力審査を通過した学生には、国際性を磨くために海外でのインターンシップや企業での具体的なリサーチを実施する**スーパーインターンシップ**が用意されている。さらに、経営的な感覚を修得するプログラムやキャリアパス支援プログラムが用意されている。

プログラムの優位性

・全学的推進体制の構築

本プログラムでは自然災害を中心とした多様なリスクに対応できる人材育成を目指しており、災害科学国際研究所等の研究所群と理学・工学・文学等の理系・文系の研究科群が緊密に共同してプログラムを実施する体制としてグローバル安全学教育研究センターを設置して学内組織の有機的・実質的連携体制を構築している。全学的には、**東北大学リーディングプログラム推進機構**（平成 27 年 4 月 東北大学学位プログラム推進機構リーディングプログラム部門へ改組）を設置して、全学的視点からリーディングプログラム学位認定を行うなどの推進体制を構築している。

・災害科学国際研究所を中心とした防災・減災教育体制

災害科学国際研究所においては、津波防災、津波工学、火山噴火防災、噴火予知、地震観測、地震予知、活断層、異常気象、防災建築などの世界最先端研究が行われる。本プログラムでは、本研究所所属教員の多くが担当者となっており、実践的防災学講義、セミナーや自然災害に関連したフィールド研修などを、兼務先部局である工学研究科、理学研究科、環境科学研究科などと共同開講し、本プログラム修了要件に関連した単位とする。これら一連の取り組みを通して、本プログラムに属する学生が「自然災害」「防災」に対して深い知識、経験を有することになる。さらに通常のカリキュラムでは機械工学（安全安心を創る）や社会学（安全安心に生きる）を専攻する学生が「自然災害」に関する深い知識や「防災科学」の経験を得る機会はほとんどないが、本プログラムによる災害科学国際研究所を中心とした取り組みによりそれらが初めて可能となる。

これらの取り組みから、国内外の巨大災害の被害軽減に向けて社会の具体的な問題解決を指向する**「実践的防災学」と「総合科学」に基づいた大学院教育を実施する全国初の大学院教育プログラムを推進し、東北復興の先導や安全安心社会の構築に貢献する人材育成を行う。**

中間評価時(H27.4.1 現在）からの修正

【公表】

学位プログラムの概念図

（優秀な学生を俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーとして養成する観点から、コースワークや研究室ローテーションなどから研究指導、学位授与に至るプロセスや、産学官等の連携による実践性、国際性ある研究訓練やキャリアパス支援、国内外の優秀な学生を獲得し切磋琢磨させる仕組み、質保証システムなどについて、学位プログラムの全体像と特徴が分かるようにイメージ図を書いてください。なお、共同実施機関及び連携先機関があるものについては、それらも含めて記入してください。）

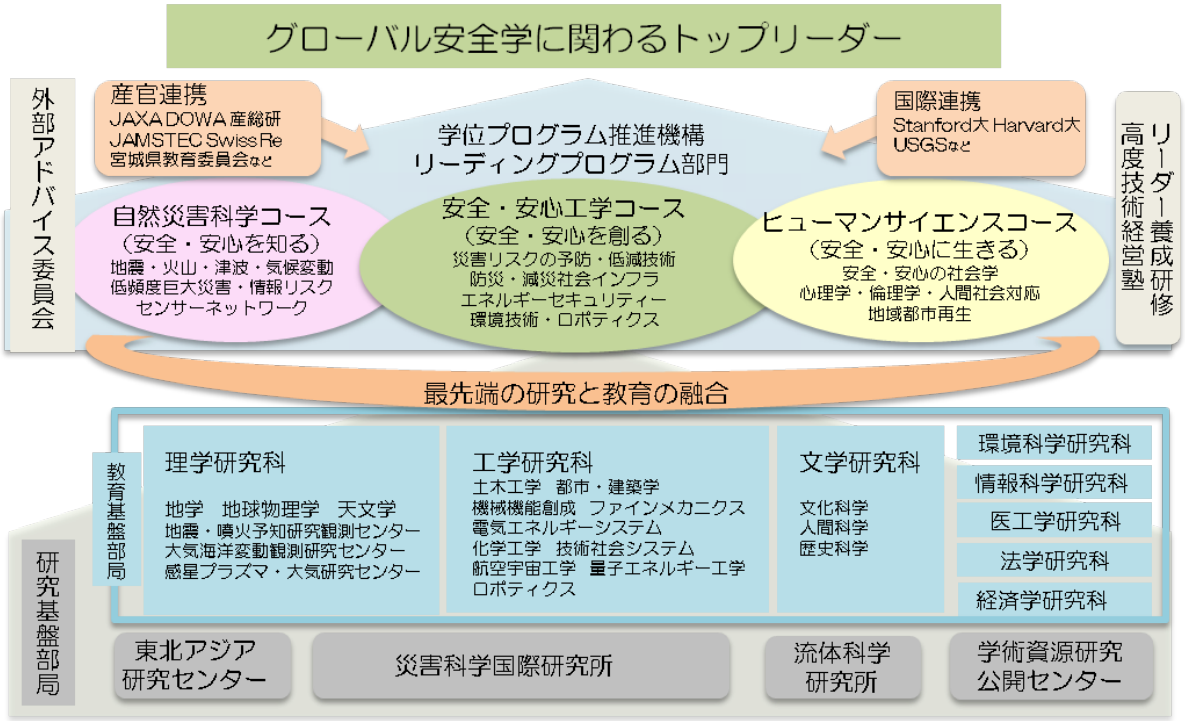

図１　３ユニットを中心としたプログラム推進体制

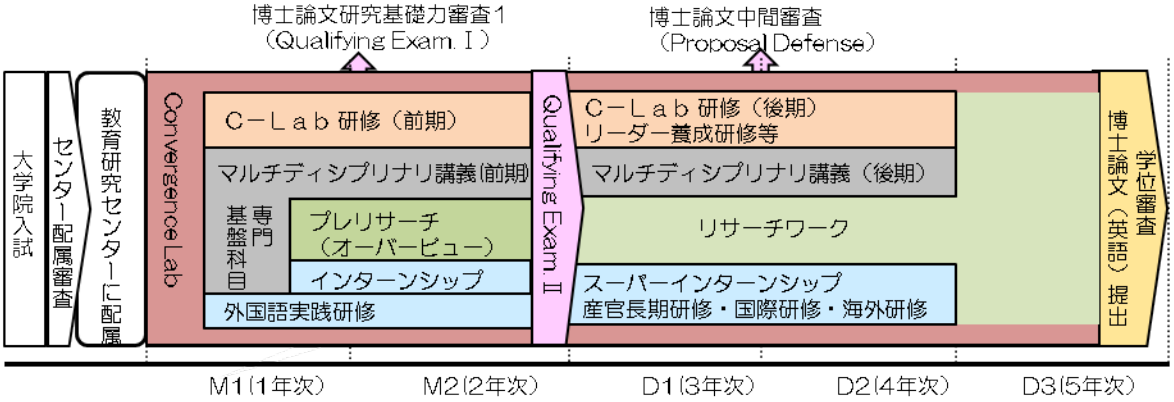

図２　グローバル安全学教育研究センターにおける教育プログラム（学年進行と審査時期）